

MESSAGE

持続可能な社会をめざす日立の挑戦 デジタル技術で顧客や社会のDXをリードする

日立製作所 執行役員社長
デジタルシステム&サービス統括本部長
徳永 俊昭



「アジリティ」を高め、 グローバルデジタルカンパニーへ

世界各地で発生している異常気象や自然災害、パンデミック、さらには地政学上のリスクなどにより、社会や企業を取り巻く環境はますます深刻な状況となり、急速に変化しています。気候変動や社会インフラの老朽化、サイバー攻撃の増加など、顕在化するさまざまな課題が複雑さを増している中で、社会や企業を変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）がグローバルで加速しています。

日立は、Web3.0やメタバースをはじめとした先端テク

ノロジーも取り込みながら、データ活用を通じて持続可能な社会の実現をめざしています。グリーン、デジタル、イノベーションを軸に社会イノベーション事業を強力に推し進め、人々の幸せな暮らしと、健全な地球環境が同時に達成できる社会の実現に貢献しています。この社会イノベーション事業を牽引するのがLumadaです。

日立は、Lumadaのグローバル成長を加速するためにDX事業が急成長している北米を拠点として日立デジタルを2022年4月に発足させました。2021年7月に日立グループの一員となったGlobalLogicや日立ヴァンタラ、日立エナジー、日立レールなどとの連携を強化し、日立グループ横断のグローバルデジタル戦略を策定・推進しています。また、DX事業の成長が見込まれている日本市場に向けては、GlobalLogic Japanを設立し、日立の強固な顧客基盤とGlobalLogicのデザイン主導のデジタルエンジニアリングのケイパビリティを基に、お客さまのDXの推進を加速しています。これらにより、日立は「アジリティ」を高め、グローバルでデジタル事業の強化を図り、Lumadaの拡大とDXによる成長を牽引し、グローバルデジタルカンパニーへのトランスフォームを実現します。

顧客の業務システムや社会インフラの DXを加速するLumada事業の拡大

社会イノベーション事業は、社会課題やお客さまの課題の理解から始まり、解決方法を設計、実装して、運用・



Lumadaの成長サイクル

GlobalLogicの協創、デジタルエンジニアリングを根拠に、ミッションクリティカルに強みを持つ日立のシステム開発、プロダクト、サービスを組み合わせ、顧客の課題解決サイクルをすべての領域で支援する。

保守というサイクルを循環させ、社会課題の解決やお客さまの価値を高めていきます。このLumadaの成長サイクルにおいて、最初のステップでは、デザイン思考で課題を見つけます。次のステップでは、その課題を解決するシステムをクラウド上などに構築します。三つ目のステップで、構築したシステムとプロダクトをつなげ、稼働状況が分かるようにするなどして、機能の拡大や強化を図ります。そして四つ目のステップで、システムの運用を高度化させ、お客さま自身が事業に注力できるようにすると同時に、蓄積された運用データを分析し、新たな課題を発見して、解決へとつなげていきます。

GlobalLogicのデザインとデジタルエンジニアリングのケイパビリティを獲得したことにより、グローバルDX市場においてお客さまや社会の課題を理解し、日立の強みであるOT×IT×プロダクトを組み合わせながら、より迅速に解決方法を導き出すことができるようになりました。またGlobalLogicが開発したソリューションを日立ヴァンタラがクラウド上で実装し、グローバルのお客さまにサービスとして提供します。またそれをリカーリングな事業にできることが強みです。

日立は、お客さまと日立グループ双方のDXをさらに加速させるため、GlobalLogicを含む国内外のコンサルティング、デザイン、デジタルエンジニアリング機能を集約し、2023年4月にはデジタルエンジニアリングビジネス

ユニットを新設します。日立グループの各事業部門と共にLumadaの成長サイクルを加速させることで、社会やお客さまの課題解決と新たな価値創出を実現し、社会イノベーション事業をさらに拡大します。また、ハイブリッドクラウドをはじめとした伸長著しいクラウド事業領域において、日立ヴァンタラの強みであるデータマネジメント、ストレージソリューションをさらに強化するとともに、ミッションクリティカルなシステム・ITプラットフォームの知見を生かし、グローバルなクラウドサービス・データマネジメント事業の競争力強化をめざします。

Lumada事業拡大には、デジタル人財の強化、拡充が必要不可欠です。GlobalLogicが有する優れた採用と育成のスキームを継続的に進化させるとともに、日本国内にも展開し、育成プログラムをアップグレードしていきます。さらにGlobalLogicと人財の相互交流を拡大することで、日本のデジタル人財育成も強化し、2024年度までに国内外で約3万人のデジタル人財を拡充します。

本号では、DXを加速するデジタルエンジニアリングにフォーカスし、協創を通じて新たな価値を創出した事例や、協創プロセス、それを支えるデジタル技術についてご紹介します。日立は、お客さまの業務システムや社会インフラのDXをリードし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。